

# トラブル発生時の対応マニュアル

R8南連実績発表大会当番校

## 1. トラブルの例

当番校側のトラブル	停電・ブレーカ落ち・マイク音声不能・コードの巻き込み（からまり）・発表者以外による電気コードの引き抜き・警報及び警報機器の作動・液晶プロジェクタの故障、操作ミス
発表者側のトラブル	PCのフリーズ・持込機材の故障・コードの引き抜き・体調不良

## 2. トラブル発生時の対応マニュアル

発表者・補助者による意思表示（発表者側の判断）

計時を止めてください 等

3個のストップウォッチのうち1個の計時をストップ

当番校担当教諭によるトラブル原因確認

分野審査長との協議

当番校側のトラブルと判断	発表者側のトラブルと判断
分野審査長に報告	発表者へトラブルの原因を聞き取り、発表を再開してもらう。（場内アナウンスも行なう） 例）PC等が復帰できない場合、プレゼン無しで口頭発表するなど、その判断は発表者・補助者に一任する。 規約通り顧問が手助けすることはできない。
発表者・顧問の心情に配慮して、基本的に最初からの発表し直しとする。 また、状況に応じて最後の発表に繰り下げる。（発表生徒に当番校が確認）	※止めていないストップウォッチで計時継続
当番校担当教諭による会場への報告	分野審査長に報告
発表再開	発表再開または発表中止 発表時間が12分を超えた場合は発表打ち切り

※基準：計時を止めることができるのは、当番校側の不手際とし、それ以外のトラブルは計時を止めることができない。

## 3. 発表者側のトラブルにおける再発表への流れと審査配点

